

# 身障いばらき

URL <https://ibashinkyo.jp>

## 第84号(法人化第35号)

発行者 会長 米川 正典

編 集

一般社団法人 茨城県身体障害者福祉協議会  
茨城県水戸市千波町1918番地

TEL (029) 243-7010

FAX (029) 243-7018



### 目

### 次

- ごあいさつ(茨城県福祉部長) …… 2
- 令和7年度通常総会
- 令和7年度上半期実施事業 …… 3
- 茨城県障害者スポーツ大会
- 結婚相談実務担当者会議
- 就労支援相談員研修会
- ゆうあいカラオケ歌謡発表会 … 4

- スマートフォン操作研修会 …… 5
- 結婚相談事業 日曜交流会
- 市町村だより(鉾田市、稲敷市) …… 6
- 役員名簿 …… 7
- 令和令和7年度下半期主な事業予定
- 相談案内・お知らせ …… 8

# あ い さ つ

茨城県福祉部長

市村 美江



米川会長様をはじめ皆様方には、日頃から本県における障害福祉の向上に多大なご尽力を賜っておりますことに厚くお礼申し上げます。

さて、本県では昨年3月に「第3期新しいばらき障害者プラン」を策定し、「ノーマライゼーション」と「完全参加」を基本理念に、「活力があり、県民が日本一幸せな県づくり」を目指し、権利擁護の推進や就労機会の拡大、スポーツ・レクリエーション・文化芸術活動の充実など、障害者施策の総合的な推進を図っております。

この施策の一環として、今年度より新たに、パラアーティストの発掘・育成に向け、ワークショップの開催や企業とのコラボレーション商品の企画化など

に取り組むとともに、障害のある方がアスリートとしてパラスポーツに取り組むことができるよう、スポンサー企業の獲得に向けた支援を行っております。

また、12月の障害者週間に合わせて開催する「ナイスハートふれあいフェスティバル」について、イベントの認知度拡大のため名称を「いばらきパラアーティストフェスティバル2025」に変更するとともに、芸術作品の展示内容の拡充を図っております。

こうした取組を通じて、障害者の自立と社会参加が促進されることを期待しています。

県では、今後とも、各関係団体と連携しながら各種施策を推進してまいりますので、貴協会の会員の皆様方におかれましても、なお一層のご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、茨城県身体障害者福祉協議会のみますますのご発展を心より祈念いたします。挨拶とさせていただきます。

令和7年度

## 通常総会を開催

5月30日(金)、セキシヨウ・ウエルビーイング福祉会館で令和7年度通常総会を開催しました。

米川会長のあいさつ後、当協議会や地元市町村団体の発展に寄与された方を会長表彰し、前



古河市身体障害者(児)福祉団体連合会会長の赤坂昇一様ご受賞されました。

来賓として、茨城県福祉障害福祉課の西野孝副参事、茨城県社会福祉協議会の大川遵一常務理事及び茨城県身体障害者福祉団体連合会の荻津和良会長の3名に御臨席いただき、西野副参事からご祝辞を頂戴しました。

議事に入り、令和6年度事業報告、収支決算及び公益目的支出計画の実施状況について審議され、原案どおり承認されました。



会長表彰を受賞した赤坂様(左)と米川会長

# 令和7年度 上半期 実施事業

## 県障害者スポーツ大会

令和7年度県障害者スポーツ大会が笠松運動公園を中心に開催され、5月にはボッチャや陸上など7種目の個人競技が行われました。

この競技会は、10月に滋賀県で開催される全国大会派遣選手選考会を兼ね、当協議会理事の伊藤東樹さんがボッチャ(身体)の代表選手に選考されました。



ビーンバック(大豆などを入れた150gの袋)投げ



ボッチャ(パラリンピック正式種目)

## 障害者結婚相談 実務担当者 関東ブロック会議

5月30日(金)、前橋市で関東甲信越静ブロック障害者結婚相談実務担当者の会議が開催されました。会議には本協議会の担当者など10名が出席し、各団体の事業実施状況報告を基に意見交換を行ったほか、友愛の集いの開催内容等について議論されました。

## 総合相談・ 自立支援推進事業 (茨城県補助事業)

6月20日(金)、セキシヨウ・ウエルビーイング福祉会館で身体障害者地区就労支援相談員研修会を開催しました。相談員は、県内32名に委嘱しており、研修会では、先ず、三共貨物自動車株式会社(筑西市 代表取締役社長 小倉重則様)の青木英樹



講師 佐藤智子様



講師 青木英樹様



様(取締役第二事業部事業部長)から障害者雇用について、ご講演をいただきました。  
青木様は長年、障害を持つ従業員の方と多数直接現場で接しており、困難や気づいたことなどに基づいた個別の育成方法や支援体制等、その実例をご紹介いただきました。  
次に、県職業訓練コーディネーターの佐藤智子様は障害者の多様なニーズに対応した職業訓練事業についてご講演をいただきました。

# ゆうあいカラオケ 歌謡発表会

7月13日(日)、セキショウ・ウエルビーイング福祉会館コミュニティホールで第28回ゆうあいカラオケ歌謡発表会を開催しました。

出場者53名、応援者のほか、ボランティアの方9名など総勢110名が参加。

思い思いの衣装を身にまとい、こちらも元気になれる歌声の方など、熱演、声援が繰り広げられ、会場が笑顔に満ちた発表会になりました。

アトラクションとして、行方市出身の演歌歌手・奈良崎正明さんの歌謡ショーがあり、軽快なトークで会場は歓声に包まれました。



奈良崎正明さん



# スマートフォン 操作研修会



講師から直接サポートを受ける参加者

7月25日(金)、セキショウ・ウエルビーイング福祉会館でスマートフォン操作研修会を開催しました。  
今回は、「スマホの基礎とキャッシュレス体験」講座として、15名の会員が参加。ソフトバンク株式会社から派遣していただいた荒瀬様、木村様の両講

師により初心者でも分かりやすく、やさしく学べる研修会として、スマートフォンの基本操作、地図や写真アプリの使い方のほか、QRコードを使ったキャッシュレス方法などを学びました。

また、個別の相談も行われました。初心者で高齢者の方も多く、健康・医療、旅行、ネットショッピング等スマホの活用方法に期待を膨ませていました。



## 結婚相談事業

(茨城県委託事業)

## 日曜交流会

9月6日(土)、セキショウ・ウエルビーイング福祉会館で今年度初めての日曜交流会を開催しました。会員等12名が参加し、パラコードを使った作品づくり

を通して会員同士の交流を深めました。

パラコードは、パラシュートに吊るすためのナイロン製の丈夫な紐で、アウトドアで使用したり編み込んでブレスレットやアクセサリが作れます。

当日は、講師に白土祐子様をお迎えして、各自好きな色のパラコードを選んで基本的な稲穂編み(3本編み)と丸四つだたみの2種類の編み方に挑戦しました。取り掛かりには時間がか

かったものの、次第にコツを覚え個性豊かな素敵な作品がたくさん出来上がりました。



好きな色を選ぶ



パラコードで編んだ作品



編み方を習う

# 市町村だより

各市町村身体障害者福祉団体の活動状況等  
を紹介しております。

## 銚田市身体障害者福祉協議会

会長 米川 正典

当協議会は、身体障害者の福祉増進と会員相互の親睦を図ることを目的に、平成17年の町村合併と同時期に設立され、現在の会員数は、賛助会員を含め58名が在籍しています。

令和6年度実施した事業を一部ご紹介します。

令和7年2月25日(火)、老人福祉センターともえ荘(銚田市社会福祉協議会)にて当協議会として初めての銚田市身体障がい者カラオケ交流会を実施しました。高齢化により参加したくてもなかなか事業に参加できない会員が多くいる中で、年齢に関わらず楽しむことができるカラオケ交流会を開催し、市内外から33名(銚田12名、鹿嶋11名、潮来6名、神栖2名、行方2名)の方が参加しました。出場者は自慢の歌を披露し、観覧者は手

拍子をしたり、口ずさんだりして、歌を通じて多くの方と交流を深めることができました。



銚田市身体障がい者カラオケ交流会

令和6年11月27日(水)には、会員日帰り研修旅行を実施し、茨城県庁に行き、県政シアターや展望ロビー、広報コーナー等を見学しました。展望ロビーからの景色に全員が感動しました。改めて自分たちの住む街について知ることができ、いい機会となりました。

また、12月7日(土)には、近年、各地でポッチャの体験会や大会が行われるなかで、銚田市においてもポッチャを広げようと、市内の身体障害者を対象としたポッチャ体験会を実施しました。ポッチャ指導士から直接指導を受け、ポッチャに関する知識や戦略等を学ぶことができました。

最後に、鹿行地区では、五市輪番制で鹿行地区障がい者スポーツ交流大会を行っておりま

す。令和6年度は神栖市が主催となり、ラダーゲッターやフライングディスク、パン食い競争等を行いました。この交流大会では、身体障害者だけでなく、知的・精神障害者も出場することができ、多くの障害者がスポーツを通じて様々な方と交流することができました。

社会とのつながりが希薄化し地域からの孤立が深刻化しているなかで、当協議会では、身体障害者の当事者団体として、共助

(支え合い)を基本理念に掲げ、身体障害者の生きがいづくりや気軽に交流できる居場所づくりを積極的に進めていきたいと思っています。



会員日帰り研修旅行



ポッチャ体験会

稲敷市身体障害者福祉協議会

会長 佐藤 実

当協議会には、現在百名を超える会員がおります。平均年齢は73歳を超えますが、皆さん元気に活動を楽しんでいます。

令和6年度は、茨城県障害者スポーツ大会をはじめ、ゆうあい卓球大会、カラオケ大会、各種研修会など幅広い活動に参加しました。

稲敷独自の活動としては、毎年恒例となっている移動研修会や新年会を通じて親睦を深めたほか、5月には、当協議会が主催となり「稲敷市ポッチャ大会」を開催しました。近隣の市町村を招待し、全22チームでの大会は、白熱した試合が繰り広げられました。

冒頭で平均年齢に触れましたが、中には20代の会員もおり、それぞれが好きなことに打ち込んでいます。自身の障がいと向き合いながら生活をする会員同士の関係づくりや情報交換の機会を、当協議会が作れているのであれば嬉しく思います。会員数の減少や高齢化は避けて通れぬ課題ではありま

すが、今後も楽しく元気に活動を続けてまいります。



稲敷市ポッチャ大会



地域身体障害者スポーツ大会

茨城県身体障害者福祉協議会 役員名簿

名誉会長

高木 昇 常陸太田市

相談役

高野 重彦 龍ヶ崎市

会長

米川 正典 鉾田市

副会長

中島 秀男 石岡市

藤田 賢司 大子町

石津 初美 鹿嶋市

村上 克行 龍ヶ崎市

尾上 孝俊 常総市

理事

荻津 和良 茨城町

小松崎 進 笠間市

軍司 有通 那珂市

齊藤 茂雄 取手市

大野 幸一 美浦村

荒井 栄司 つくばみらい市

服部 佳子 下妻市

今井 輝勝 古河市

伊藤 東樹 青年部会

監事

山間 松代 神栖市

中島 隆久 かすみがうら市

令和7年度 下期主な事業予定

10月31日(金)

第51回山の集い・第47回銀輪の集い  
偕楽園公園

11月29日(土)

若人の集い(ポッチャ交流会)  
龍ヶ崎市総合体育館  
参加申込10月30日まで

12月14日(日)

結婚相談事業日曜交流会  
(第2回)  
水戸市内のホテル

令和8年1月22日(木)～23日(金)  
役員研修会(市町村身体障害者福祉団体役員等)  
鉾田市 いこいの沼酒沼



### 各種相談のご案内

#### 結婚相談

身体に障害がある方々が、よき配偶者に恵まれ幸せな家庭生活が営まれるよう、登録制により出会いの機会の提供と結婚に関する相談に応じています。

#### 相談内容等

- ・ 県内、近県在住の登録者の紹介
- ・ 結婚や日常生活に関すること
- ・ 年に数回開催する集いや交流会のご案内

#### 対象者

- ・ 県内に居住する身体障害者手帳をお持ちの方で心身ともに結婚生活が可能な方
- ・ 身体の不自由な方との結婚を希望する健全者の方

#### 相談日時

原則、月曜日～金曜日  
午前9時～午後4時

\*必ず電話等の事前予約が必要  
☎029-1243-7010

#### 総合相談

身体に障害のある方やそのご家族から様々な相談をお受けしています。お気軽にご相談ください。相談費用無料、秘密厳守。

#### 相談内容

就労や就職、手帳関係、年金、住居、介護その他生活全般に関すること。

#### 相談日時

原則、月曜日～金曜日  
電話相談 午前9時～午後5時  
☎029-1243-7010

来所相談 午前10時～午後3時  
\*必ず電話等の事前予約が必要

### 賛助会員の募集

当協議会は、身体障害者の自立更生と福祉の増進、身体障害者に関する県民の理解促進により、障害者と健全者が共同してノーマライゼーションの理念に基づいた地域社会の形成に寄与することを目的に活動しています。

県民の皆様をはじめ、団体各位のご理解とご賛同によるご支援(賛助会費一口3千円以上)をお願いいたします。

### ジパングクラブ 特別会員制度

JR東日本が行っているジパングクラブの身体障害者向け特別会員制度は、一般の会員より年会費が安く、また、加入年齢も5歳低く設定されています。

#### きつぶの割引

・ JRの窓口で障害者手帳を提示して購入した乗車券が片道・往復・連続乗車券のいずれかで201km以上利用する場合、特急券、グリーン券等が2割引きになります。

ただし、一部、割引にならない期間があります。

#### 加入資格

身体障害者手帳をお持ちの方で、男性は満60歳以上、女性は満55歳以上の方

#### 年会費

1,400円(入会金は無料)

#### 加入申込み(問合わせ先)

茨城県身体障害者福祉協議会事務局  
☎029-1243-7010

### 茨城県警からのお知らせ

令和7年7月1日から駐車禁止除外指定車標章の交付申請方法が変更されました。

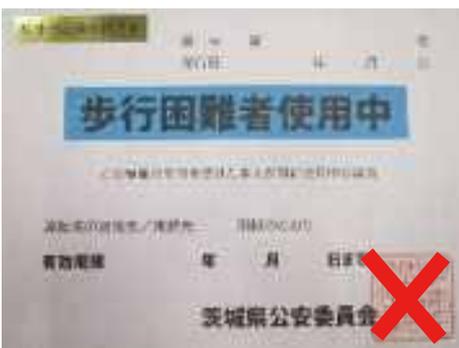
- ・ 申請書様式の変更
- ・ 添付書類の追加

#### 対象

身体障害者等で一定の等級等に該当し、歩行困難と認められた方が使用中の車両

#### 受付、問合わせ先

最寄りの警察署又は県警本部  
交通規制課  
(029-1301-0110)



この会報は赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しています。